

○ 本校の概要

* 学校規模(児童数626名、通常学級数20、通級指導学級3(言語2、弱視1)、特別支援学級(拠点校)、教員39名)
* 特色ある教育活動: 大田区学習効果測定を分析して作成した「授業改善推進プラン」に基づき、授業改善を行い、問題解決的な学習や体験的な学習を積極的に取り入れ、児童の基礎的・基本的学力の向上を推進している。
○1年生・2年生の学校探検や1年生・6年生の交流を図る活動を実施し、児童相互のよき人間関係を築くとともに自主性を培っている。
○併設の「弱視通級指導学級」「言語障害通級指導学級」「特別支援学級(サポートルーム)」との連携や学校特別支援員の活用、個別指導計画・個別支援計画の活用を通じ、特別支援教育を推進している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include: ブラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成, ブラン2 児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます, ブラン3 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、豊かな心を育成する, ブラン4 スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします, ブラン5 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくり, ブラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に関わった教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す